

授業科目	障害者心理学				単位	2			
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21410J			
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1				
担当教員	水貝 洵子								
授業概要	<p>さまざまな障害に関する特性についてや、障害児者が生活の中で出会う困難、それらに対する心理的援助について解説する。</p> <p>また、障害児者だけでなく、その家族への心理支援についても、基本的な考え方や事例などを通じた具体的な支援の在り方について解説する。</p>								
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の定義(医学・福祉、教育的立場からの定義)を整理し説明することが出来る 2. 様々な障害(視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、重度・重複障害、病弱障害、発達障害等)を有する人びとの心理特性と心理援助の在り方について説明することができる。 3. 障害受容の諸説を理解し、障害児者および家族の心理状態に応じた援助について説明することが出来る。 								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	80	0	20	0	0	0	100		
知識・理解 (DP1-1)	5						5		
知識・理解 (DP1-2)	55						55		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)	10						10		
思考・判断 (DP2-2)	10						10		
関心・意欲 (DP3-1)			20				20		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の概念について歴史的変遷を踏まえながら適切に理解し、ICFの視点から障害児者の生活を理解することが出来る。 2. 障害特性を踏まえた適切な心理支援の在り方について考察し、自分自身のこれまでの援助を振り返ったり、今後の援助について考えることが出来る 					<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の概念について歴史的変遷を踏まえながら適切に理解し、他者に説明することが出来る。 2. 様々な障害特性や特性に応じた支援の在り方について適切に理解し、他者に説明することが出来る。 				
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション： 授業計画について説明を行う。	オリエンテーション 小レポート	なし	0
2	テーマ：障害とは 障害の概念に関する歴史的な変遷や、現在の障害の捉え方について説明を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
3	テーマ：知的障害の理解と援助① 知的障害に対する考え方の歴史的変遷、現在の定義と分類、原因論などについて説明を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
4	テーマ：知的障害の理解と援助② 知的障害児者を対象とした心理援助の技法について紹介し、基本的考え方や支援の実際について解説する。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
5	テーマ：肢体不自由児者の理解と援助① 肢体不自由の定義について説明し、その中で脳性麻痺を取り上げ、脳性麻痺の診断基準、分類、症状などについて解説する。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
6	テーマ：肢体不自由児者の理解と援助② 筋ジストロフィー、二分脊椎について取り上げ、それぞれの診断基準や症状について解説する。さらに、肢体不自由児者への心理援助の実際について解説する。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
7	テーマ：発達障害児者への理解と援助① 発達障害の定義や全体像についての説明を行った後、自閉スペクトラム症を取り上げ、その診断基準や症状について解説を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
8	テーマ：発達障害児者への理解と援助② 注意欠如・多動性障害の診断基準や症状についての解説を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
9	テーマ：発達障害児者への理解と援助③ 学習障害の診断基準や症状についての解説を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
10	テーマ：発達障害児者への理解と援助④ 自閉症スペクトラム児者、注意欠如・多動性障害児者、学習障害児者に対する心理援助の方法について紹介し、基本的な考え方や援助の在り方について説明を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
11	テーマ：視覚障害児者・聴覚障害児者への理解と援助 視覚障害および聴覚障害について、診断基準や症状について解説を行う。また、視覚障害児者、聴覚障害児者への心理援助について説明を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
12	テーマ：重度・重複障害児者への理解と援助 重度・重複障害の定義について説明を行う。また、重度・重複障害児者への心理援助について説明を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
13	テーマ：病弱児への理解と援助 病弱の定義について説明を行う。また、病弱児への心理援助について説明を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
14	テーマ：障害告知と障害受容 障害告知における配慮点や当事者に与える影響、障害受容のプロセスについて説明を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
15	テーマ：まとめ これまでの授業の総括を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	30
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	発達心理学に関する知識を有しておく必要がある。			
テキスト	指定なし。毎回レジユメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「障害特性の理解と発達援助 教育・心理・福祉のためのエッセンス」 昇地勝人・蘭香代子・長野恵子・吉川昌子(編) ナカニシヤ出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	障害児者に関する文献、書籍を読んだり、積極的にボランティアなどに参加することが望ましい。			
達成度評価に関するコメント	試験およびレポートの内容は講義の中で指示する。			